

ハクモクレン

【区画②⑤(160)】

学名	<i>Magnolia denudata</i> Desr.	分類	モクレン科モクレン属
分布	日本各地の庭園	樹高	7~15mの落葉高木

〈特徴等〉

名前の由来	・白木蘭は、モクレンに似て花が白いからである。		
葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
開花等	・3月頃、枝の先に白色の大きい花をつけ、日があたると開く。香りが高い。		
結実等	・果実は、成熟すると開き、白色の糸によって赤色の種子を垂れ下げる。		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・花が咲く時期は、サクラより早い。 ・葉は卵を逆さにしたような形になり、先端はちょこんと突き出る。 		

〈写真〉

		
樹木 (5/12)	樹皮 (4/3)	葉の付き方 (5/12)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (5/12)

〈参考文献〉 牧野富太郎(2017)『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p.172.
林 将之(2018)『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p.138.